

氏名	金 井 熙
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	甲 第 247 号
学位授与の日付	昭和42年 9月30日
学位授与の要件	医学研究科内科系神経精神医学専攻 (学位規則第5条第1項該当)
学位論文題目	副腎皮質ホルモンの組織ヒスタミンにおよぼす影響に関する研究 第1報 副腎皮質 Hormone の Sinomenine による Histamine 遊離抑制作用 第2報 ラットの組織 Histamine にたいする副腎皮質 Hormone の影響
論文審査委員	教授 山崎 英正    教授 奥村 二吉    教授 緒方 正名

#### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

ラットの組織 Histamine の代謝、結合および遊離にたいする副腎皮質 Hormone の作用およびその機構を追究する目的でこの研究をおこなった。

副腎皮質糖質 Steroids の 1-2 回の投与後 Histamine 遊離物質 Sinomenine によるラットの皮膚 Histamine の遊離は明らかに抑制された。その抑制効果には好適用量があり、諸種 Steroid 剤についての効力の大きさは抗炎症作用の効力と平行した。Sinomenine をラットの腹腔内に注射すると皮膚内層の Histamine は60分後には著しく減少したが、皮膚外層のそれは変化せず、胃幽門部および空腸では15-60分の間に一過性の減少がみられた。Hydrocortisone 毎日 1 回連続反復注射によりラット皮膚内層、同外層および空腸では Histamine が減少したが、胃幽門部では逆に増加した。Hydrocortisone を14日ないし21日間筋注したラットでは Sinomenine による皮膚内層の Histamine 遊離の抑制はみられず、また、皮膚外層、胃幽門部および空腸では正常動物と同様に Sinomenine による変化はみなかった。副腎摘出は諸組織 Histamine 含量を増加した。副腎摘出ラットは Sinomenine 注射にたいして正常ラットよりもはるかに強度の浮腫反応をしめしたにかかわらず、組織 Histamine 含量を変化しなかった。

以上の成績から、異った組織の Histamine 動静にたいする副腎皮質 Hormone の影響の差異を肥満細胞内 Histamine と同細胞外 Histamine に区別して考察し、後者については、とくに胃幽門部 His-

tamine の特殊性を指摘し，かつ Stress の影響についても推論した。

(昭和42年10月31日岡山医学会雑誌79巻9.10号に掲載予定)

(昭和42年12月31日 “ 79巻11.12号 “ )

#### 論文審査の結果の要旨

本研究は副腎皮質ホルモンの短期および長期投与ならびに副腎摘出がラットの諸組織ヒスタミン含量およびその遊離におよぼす影響を詳細に研究したもので，ヒスタミン代謝と副腎皮質ホルモンの関係について重要な知見を得たものであり，価値ある業績であることを認める。

よって本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。